

ポッドキャスト : An Eye on P&I エピソード 4

国際グループ、その主要機能、3つの基本協定 日本語訳テキスト

ポッドキャスト : An Eye on P&I は、Marsh Global Marine, Cargo & Logistics 部門のスペシャルアドバイザーであるジョン・トゥルーがクライアントアドバイザーであるクロエ・テイラーの質問に答える形式で P&I 保険について解説をしていくものです。

クロエ・テイラー（以下、クロエ）： 皆さん、こんにちは。マーシュ・マリンの P&I ポッドキャスト「An eye on P&I」のエピソード 4 へようこそ。私はクロエ・テイラーです。今回もスペシャルアドバイザーのジョン・トゥルーと一緒にこのポッドキャストをお届けします。

3 回目のポッドキャストでは、クラブの理事会の役割について取り上げました。今日のポッドキャストでは、ジョンと私は、国際 P&I クラブの役割、その主要な機能、そしてその活動を支える 3 つのコア・アグリーメントについて探ります。ジョン、インターナショナル・グループには現在 12 のクラブが加盟しています。通常、単に「IG」または「グループ」と呼ばれていますね。グループは巨大な P&I クラブのようなもので、12 の加盟クラブから成る法人化されていない団体として組織されています。グループ全体で、世界の外航船のトン数の約 90% に P&I カバーを提供しています。このインターナショナル・グループの主な機能は何ですか？

ジョン・トゥルー（以下、ジョン）： インターナショナル・グループには 3 つの重要な機能があり、グループ定款に定められています。1 つ目は、プーリング・アグリーメントの運営で、これについては後ほど詳しくお話します。2 つ目は、船主の賠償責任保険に関する意見や専門知識を交換したり共有したりする場の提供です。そして 3 つ目は、各国政府、規制当局、政府間海事機関、海上保険業界、再保険業界と、今お話したような事項について、業界全体の声を集約する場を提供することです。

IG が代表を務めるという点でさらに言うと、IG は国際海事機関（IMO）においても協議資格を有し、IMO 条約の策定に関して専門的な助言を提供しています。

クロエ： なるほど、これが 3 つの主な機能なのですね。しかし、実際にグループはどのように運営されているのでしょうか？

ジョン： 本部はロンドン市内、グループ最高経営責任者が率いるグループ事務局によって運営されています。グループの議長は、3 年交代で選出されるシニア・クラブ・マネジャーが務めます。

当該グループの日常業務は事務局によって遂行されるのですが、その事務局を支えるのが、クラブ代表によって構成される多数の委員会とワーキンググループです。すべての代表者がすべての委員会に出席するわけではなく、個々のスキルや専門性を考慮して選ばれます。委員会では、船主、運航会社、用船者に影響を与える法律、規制、技術、保険など幅広いテーマ（公害、船荷証券、サルベージ、再保険など）を扱っています。近年、この委員会の知名度を上げるために尽力しているにも関わらず、多くの船主にはまだ十分に理解されていないのではないのでしょうか。

クロエ：このポッドキャストは理解向上に有益ですね。

ジョン：もちろん、そう願っています。

クロエ：IG グループの3つの主要な機能とその運営方法についてご説明いただきましたが、IG のウェブサイトには3つのコア・アグリーメントが掲載されていることに気がつきました。おそらく、これらはグループの3つの主要機能に直接関係しているのですよね？

ジョン：いや、そうでもないのです。最初のコア・アグリーメントは、すでに述べたグループ定款です。これは3つの重要な機能を定義しています。そして、2つ目と3つ目のコア・アグリーメントは、グループ・プールの運営を支えるもので、それぞれ国際グループ・アグリーメント（IGA）とプーリング・アグリーメントを指します。

クロエ：そうなんですね。では、グループ定款についてはすでにお聞きしたので、2つ目のIGA に話を移しましょうか。

ジョン：IGA は比較的短い文書で、クラブ間の競争方法を規定するものです。主に、あるクラブから別のクラブに保険を移したい船主がいた場合に、どのように受け入れるか、その方法を示しています。クラブが見積もりを行う方法と、料率を提示する前に新旧クラブが互いに取得すべき情報について規定しています。

また、IGA の条件に違反した場合の制裁も含まれています。

クロエ：なるほど。これでグループ定款とIGA はカバーされ、残るは3つ目のコア・アグリーメント、プーリング・アグリーメントですね？

ジョン：その通りです。プーリング・アグリーメントは実際にはかなり複雑な文書であり、その仕組みについては次回のポッドキャストで説明します。しかし、3つのコア・アグリーメントがどのように相互に関連しているかを理解するためにも、プーリング・アグリーメントの基本的な構造と目的を簡単に説明します。

船主が直面するリスクの多くは非常に高額となるものです。巨額事故が発生した場合、1つのクラブだけではカバーしきれない賠償責任が発生する可能性があり、たとえ再保険の恩恵があったとしても不可能なほどです。このため、プールでは、1,000万米ドル超、約89億ドルに達するまでの保険金請求をカバーする共通の仕組みを提供しています。

このレベルのカバーの大部分は、再保険マーケットとの契約によって確保されています。この仕組みについては次のポッドキャストで詳しく述べますが、グループ全体の再保険プログラムは、単一のクラブが単独で行うよりも安価で、より多くのキャパシティとなっています。

クロエ：では、なぜIGA がグループ・プールを支えていると言われるのでしょうか？ IGA を廃止しても、プーリング・システムは同じように、あるいはそれ以上にうまく機能するのではないのでしょうか？

ジョン：グループ全体のシステムは、何よりもクラブと各メンバーの相互信頼と協力を依存しています。それぞれのリスクを共同保険でカバーするため、各クラブは、他のクラブが適切な管理下にあり、財務的に健全であり、同様の方法で相互のリスクをカバーしているという信頼関係が重要になります。

もしクラブが純粋に価格のみで競争すれば、簡単に "底値への競争" になってしまうでしょう。どういうことか説明します。クラブが単にビジネスを獲得するために、一貫して最安値、つまりリスクの真の評価に基づかない価格を提示するようになった場合、そのクラブは時間の経過とともに財政的に不安定になる危険性があります。保険料が安ければビジネスは増えるかもしれませんが、発生する責任をカバーするには不十分となることは間違いないでしょう。

従って、IGA は、単に価格だけでクラブ同士が競争するのを防ぐブレーキとして機能しているのです。船主がクラブを変えることを妨げるものではありません。

クロエ：そして、これまでのお話にあるように、価格がすべてではないのですね？

ジョン：ええ、私の考えではそうではありません。クラブは、メンバーの全体的な質や、クラブの財務力、実績、専門知識、サービス全般のレベルなど、きわめて現実的な方法で互いに競争しています。昨今では多様化により、多くのクラブが、中核となる P&I 事業だけでなく、船舶保険やオフショア、エネルギーなど、多種多様な商品を提供できるようになっています。選択できるオプションは 12 クラブあり、それらはすべて異なるのです。

船主にもたらされるメリットは、価格競争が若干制限されるデメリットをはるかに上回ると、規制当局や船主自身によって、一般的に認められています。また、おそらく同様に重要なのは、この強固なシステムによって、事故後に損失や損害を被った保険金請求者が損失を回復できるという事実でしょう。IG グループは、加盟する P&I クラブが有効な保険金を支払わなかったことは過去に一度もないのです。

クロエ：そうですね、それは説得力がありますね。今日はここまでにしめよう。次回のポッドキャストでは、プーリング・アグリーメントについて深掘していきたいと思います。

ジョン：そうですね、どのように構成され、どのように運営され、何を提供するのかを説明しようと思います。

本テキストに関するお問合せは以下までお願いいたします。

マーシュブローカー ジャパン株式会社
03-6775-6100 代表)
Jp.Info@marsh.com
〒107-6216 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
www.marsh.com/jp/ja

マーシュについて

マーシュはマーシュ・マクレナン（NYSE:MMC）の一員であり、世界有数の保険仲介およびリスクアドバイザーです。マーシュ・マクレナンは、リスク、戦略および人的資本の分野における世界的リーディングカンパニーであり、マーシュ、ガイ・カーベントナー、マーサー、オリバー・ワイマンの4つのビジネスを通じ、世界130カ国以上においてクライアント企業にサービスを提供しています。マーシュ・マクレナンは、年間総収入230億ドル、総勢約85,000名以上のスタッフを擁し、未来への確かな視点を通じて、ビジネスを成功へと導くサポートをいたします。詳細については、marsh.com、[LinkedIn](#)、[X](#)をご覧ください。

本書（当社が行った提言、分析または助言がある場合はこれらを含み、以下総称して、「当社の分析等」といいます）は、個別の状況に対する助言として理解されることを意図するものではなく、またそのように依拠されるべきものでもありません。本書に記載の情報は、当社が信頼に足ると考える情報源に基づくものでありますが、正確性について当社は何らの表明または保証をするものではありません。当社は、当社の分析等を最新のものに更新する義務を有せず、本書をお読みの方または他の第三者に対して、本書に記載のいかなる事項についても何らの責任も負いません。保険数理、税務、会計または法務に関する記載があっても、それらは当社の保険ブローカー/代理店およびリスクコンサルタントとしての経験のみに基づくものであり、保険数理、税務、会計または法務に関する助言として依拠されるべきものではありません。それらの問題については、本書をお読みの方が各自で専門家・アドバイザーに照会頂く必要があります。当社の分析等における数理的モデル、分析または予測は、それぞれ固有の不確実性を有しており、基礎となる仮定、条件、情報または要因が不正確、不完全または不確定である場合、当社の分析等は相当の影響を受ける可能性があります。当社は、保険約款の適用または保険会社（再保険会社を含む）の財政状態もしくは支払余力について何らの表明や保証をするものでもなく、また特定の補償内容が入手可能かどうかもしくはそのコストまたは契約条件につき、何らの保証をするものでもありません。当社の助言または推奨の有無にかかわらず、保険による補償の金額、種類または条件についての意思決定は、最終的には保険契約者の責任においてなされるものであり、当該保険契約者が特定の状況および財政状態に適した補償内容を定める必要があります。

本書の全部または一部の無断開示・複写・複製・転載等を禁じます。